

2019年8月吉日

学 校 長 殿  
英 語 科 担 当 者 殿  
E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 会 員 各 位

E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 会 長 本 多 敏 幸  
第 2 5 回 研 究 大 会 実 行 委 員 長 高 瀬 ひとみ

## E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 第 2 5 回 研 究 大 会 ( 第 一 次 案 内 )

盛夏の候、皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会 第 2 5 回 研 究 大 会 を、下 記 の 要 領 で 開 催 す る 運 び と な り ま し た 。 毎 年、多 くの 現 職 教 員 の 方 々 に 加 え 英 語 教 育 を 志 す 学 生 の 方 々 に も 熱 心 に ご 参 加 い た だ き、熱 気 あ ふ れ る 大 会 と な っ て お り ま す。こ れ も ひ と え に 皆 様 の ご 協 力 と ご 支 援 の 賜 と 感 謝 致 し て お り ま す。

昨 今、小 学 校 か ら 大 学 ま で、英 語 教 育 を め ぐ り 様 々 な 動 き が あ り ま す。本 学 会 で は、こ の よ う な 動 向 も ふ ま え つ つ、よ り よ い 英 語 教 育 を 目 指 し て、各 研 究 部 会 で 研 究 を 進 め て 参 り ま し た。今 年 度 も、拓 殖 大 学 を 会 場 に、参 加 者 の 皆 様 と と も に 視 野 を 広 げ、英 語 教 育 を 見 つ め 直 す 一 日 に し た い と 願 っ て お り ま す。

英 語 教 育 に 関 わ る す べ て の 先 生 方、教 員 志 望 の 学 生 の 皆 さ ん、奮 っ て ご 参 加 下 さ い。

### 記

1. 期 日 : 2019年11月3日(祝日) 9:20~17:20
2. 会 場 : 拓殖大学文京キャンパス(東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅下車 徒歩3分)  
C館5階を中心として(受付はB館1F学生ホール)
3. 主 催 : E L E C 同 友 会 英 語 教 育 学 会
4. 参加方法 : ・事前の参加申し込みは不要です。参加ご希望の方は、当日会場で受付をお願いします。受付は一日を通して行っています。  
・当日に入会(年会費5,000円)の手続きをなさった方は、会員として無料で参加できます。
5. 参加費(資料代) : 会員 無料 学生 1,000円 一般 3,000円
6. 大会プログラム(予定。詳細は変更になる可能性があります) :

9:20	受付開始	12:30~13:20	研究部会発表Ⅰ
9:50~10:00	開会行事	13:30~14:20	研究部会発表Ⅱ
10:00~11:30	講演	14:30~15:20	研究部会発表Ⅲ
11:30~11:45	会員総会	15:35~17:10	ビデオによる公開授業(一般会場)
11:30~12:30	昼食・協賛企業展示	15:35~17:20	同(学生会場)
		17:10~17:20	閉会行事
		17:35~19:05	懇親会(学生食堂)

## 7. 内 容：

### <午前の部>

#### ◆講演

タイトル：「小中高 新学習指導要領 こう準備しよう」

講 師：金森 強（文教大学）

講演司会：豊嶋 正貴（文教大学附属中学校・高等学校）

新学習指導要領の実施に向けて、小中高それぞれの教室で育てるべき力とは何か、英語指導の在り方を理解する。

### <午後の部>

#### ◆研究部会発表

##### 小学校英語教育研究部会

###### 「小学校英語と中学校英語をつなぐスモールトークの可能性」

小学校高学年新教材では2時間に1回程度帯活動としてスモールトークを行うことが推奨されている。5年生では指導者との間で、6年生ではペアでのやりとりを身近なテーマに基づいて即興的に対話を続ける。系統的な文法指導がなされない中、既習表現を繰り返し用いる機会を設けることで、いかに使用前提とした学びを促し、中学英語へ向けて、学びに向かう力を養っていくかを考える。

##### 音声指導研究部会

###### 「Classroom English の音読学」

授業中に教師が繰り返し発し、児童・生徒の記憶に残る「クラスルーム・イングリッシュ」。学習者の発音と音声表現に多大な影響を与えるこのインプットの質を高めるために、教師は何に気をつけてどのように研鑽を積みばよいか、当部会の取り組んでいる「音読学」の視点から考えていく。研究部員の授業実践や実演を交え、明日の授業にひと味違う発音で臨みたくなる *inspiring* な発表にしたい。

##### 評価研究部会

###### 「日常のアウトプット活動評価ー学習段階に応じたスケールとは」

私たち評価研究部会では、話すことのパフォーマンステストを日常的に教室で行うにはどうすればよいか、また具体的にどう評価するべきかについて研究を始めて3年目になります。7月の奇数月例会での中間発表では、部員の実践例を視聴してオーディエンスの皆さんにも評価体験をしてもらいました。その分析結果も大会でご報告する予定です。私たちの提案するスケールはもちろん完成形ではありませんが、日常の授業と評価とはどうあるべきかについて考えるプロセスを皆さんと共有できたらと考えています。

##### 実践研究部会

###### 「質問文の指導」

「話すこと [やり取り]」を成立させるためには質問を適切に行えることが不可欠です。しかし、一般的に質問文を正しく作る（言う）ことには課題があると部会では考えました。そこで、質問文に関する各部員の指導や活動の実践を検討してきました。そのいくつかの例を紹介します。

##### リーディング研究部会

###### 「教師の推論発問を起点とする学習者の思考力・分析力・メタ認知力の高度な育成を目指す読解指導」

本研究部会では、教師の推論発問を起点とし、学習者に主体的な OUTPUT 活動を取り組ませることを通じて Deep and Active Learning を体験させ、内容理解をより深化・発展させることを目指す指導展開例を提案する。

## オーラルアプローチ研究部会

### 「授業パッケージ・中学校・導入編」

「英語で授業を行う」ための基本的な技術である「オーラルイントロダクション」と「パターンプラクティス」について研究しています。現在は導入から復習、そして言語活動まで、様々な先生方が参考にできる「授業パッケージ」の作成を行っています。今年度は高等学校の授業の導入にあたる、オーラルイントロダクションと本文理解を促す活動を提案します。効果的にするために、部会でどのように話し合ってきたのか、その過程もお伝えすることで、他の学年、文法事項、題材にも応用が可能と考えています。

## 語彙指導研究部会

### 「Modified Repetition ～語彙の定着活動としての記憶への効果の検証～

#### 新出単語 24 語を教え、その定着活動として」

(1) Okada (2006) が使った modified repetition を行ったグループ、(2) advanced modified repetition を行ったグループ、(3) ただ単に単語を 10 回ずつ書いたグループとではどのグループが最も記憶保持が高いかを、活動の紹介とともに報告する。

## ライティング研究部会

### 「自律的な書き手を育てるための教師の支援とは ～Pre-writing 活動に焦点を当てて～」

ライティングのプロセスは、大まかに、Pre-writing、While-writing、Post-writing といった 3 段階に分けられるが、自律的な書き手を育成するための支援として、各段階で生徒が使用可能な self-checklist を作成することの意義は高い。一方、そのようなリストを独力で有意義に使用できるようになるためには、協働的なライティングの手法が一つの有効的な手段であるが、その前提となる教師の働きかけも不可欠である。生徒が見通しをもって取り組めるように、プロンプト（指示文）の分析など、Pre-writing の段階から、教師がどんな支援をしていくことで、生徒が主体的に学びに向かうことができるかを考えたい

## ◆ビデオによる公開授業

### 「コミュニケーションⅢ 生徒に思考させ、即興的かつ質の高い発話ができることを目指した授業」

授業者：本多 敏幸(千代田区立九段中等教育学校)

6 年生（高校 3 年生）の授業をご覧ください。6 年間、教科書の本文を利用した「話すこと」の言語活動を継続して行わせたことで、生徒の英語力をかなり伸ばすことができました。高校の課程において単元や授業の構成を工夫し、改良してきた指導方法を皆さんと共有したいと思います。

#### 【一般会場】

解説者兼司会進行：津久井貴之（お茶の水女子大学附属高等学校）

#### 【学生会場】

解説者兼司会進行：工藤洋路（玉川大学） 豊嶋正貴（文教大学付属中学校・高等学校）

8. 昼食：当日は休日につき学生食堂は利用できません。お手数ですが昼食は各自でご用意くださいますようお願いいたします。
9. 懇親会：情報交換や親睦の場として懇親会を企画しています。会費は 3,500 円の予定です。会員でない方もご自由に参加いただけます。参加希望の方は、当日受付でお申し込み下さい。
10. その他 台風等の不測の事態による大会の中止や開始時刻の繰り下げを行う場合は、大会当日朝 8 時に本学会 HP に掲載いたします。
11. 問い合わせ先 E-mail: elec\_taikai2019@elecfriends.com 高瀬 ひとみ（タカセ ヒトミ）